

# 情報活用単元デザインシート

学年・教科	4 年 国語科・総合的な学習	単元（教材）名	報告します、みんなの生活
時数	1 7 時間（本時：1 3 時）	日時	令和 2 年 2 月 5 日（水） 13:55～14:40
場所・教室	4 年 1 組 教室	授業者	藤井 優美子
単元のねらい（目標） ○ アンケート調査をして分かったことと考えたことを、図表やグラフを用いながら、分析し聞き手に分かりやすく筋道を立てて報告することができる。			

## 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果から考えたことを正確に伝えるために、ポスターに整理している。</li> <li>言葉には、考えたことや思ったことを伝える働きがあることに気づく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポスターの図表を用いて、理由や事例を挙げながら筋道を立てて話している。</li> <li>聞き手にわかりやすいように、話す速さや間の取り方、立つ位置、資料の示し方などを考え、適切な言葉遣いで話している。</li> <li>自分と比べながら聞き、質問したり感想を述べたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話題や報告することに関心をもち、発表に向けて調べ、よりよく伝えるように考えている。</li> <li>図表やグラフを用いて発表することに興味を持ち、わかりやすく工夫して話そうとしている。</li> </ul>

## 指導にあたって

### （１）児童観

本学級の児童は1学期よりNHK for Schoolの番組「しまった」を継続視聴しながら学習を進めている。国語科「新聞をつくろう」では、「しまった～新聞を作る～」を活用し、「大事な記事から大きく順番に並べる」「見出しは短く、最後に考える」というポイントについて、意識して活動することができた。

2学期には消防署の見学の際に「しまった～インタビュー～」を視聴して臨んだところ、1学期の社会見学と比べると、予備知識を交えた深い内容の質問ができた。また、写真撮影の際も「しまった～写真撮影～」から、「アップとルーズ」を意識して撮影することができた。

総合的な学習の時間に行った「安心・安全な町、今里」では、防災・防犯について調べたことをもとに、地域の一員として何ができるかを考え、タブレット端末の「発表ノート」を使ってプレゼンテーションを行った。その際には、「しまった～プレゼンテーションを作る～」を視聴した。「文字を少なくキーワードで」「写真やグラフは絞り込む」という点について意識して作成することができた。しかし、本番になるとほとんどの児童の声が小さく、早口になり原稿から目を離すことができなかった。聞き手を意識した話し方をするという点においては課題が残る。

11月に4年生は、5年生の「大阪府の企業」についての発表を聞いた。5年生は自分たちに問いかけながら調べたことを発表していて、その姿が大変刺激となった。「自分たちも5年生のように発表したい。」「今度は、5年生に自分たちが作ったプレゼンテーションを見てほしい。」とお礼の手紙に綴るなど意欲は高まっている。

### （２）教材観

本単元の目標は「アンケート調査をして分かったことと考えたことを、図表やグラフを用いながら、聞き手に分かりやすく筋道を立てて話して報告することができること」である。児童が意欲的に活動に取り組めるように、自分たちで作成したプレゼンテーション資料を5年生の児童に発表することにした。クラス内での発表会よりも、5年生に発表するという点で、より聞き

手を意識した活動を行うことが期待できる。

本単元では、教材文「報告します、みんなの生活」と合わせて、NHK for School「しまった～話す力を高める～」を視聴する。この番組は、聞き手を意識してわかりやすく話す話し方のスキルが10分でわかるように構成されていて、説得力のある話し方、より良い聞き方を習得するために効果的だと考える。本学級児童はこれまで「しまった」を視聴する際、視聴したことが振り返られるように、視聴しながら「しまったメモ」に気づいたことやポイントをメモできるようにしてきた。今回も番組を視聴する際は個別視聴し、大事なところや聞き逃したところを何度も繰り返し視聴しながら「しまったメモ」に書き残し、チェックリスト作成の際に役立てたい。

表やグラフを簡単にきれいに作成できることや、アンケート結果を分析しさらに調べたいことが出てきた場合には、インターネットを活用するということからタブレット端末を使用する。また今回は、グループでポスターを作成する際、複数の児童が同時に同じシートで作業を進めることができる「コラボノート」というアプリを活用する。

### (3) 指導観

これまでに児童は、聞き手を意識した言葉を用いるなどして話し方を工夫することや、写真など資料の見せ方の工夫をすることを学習してきた。その上で、「相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。」および、「相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すこと。」を本単元で力を付けたい。まず、「自分の生活を見つめ直し、より良い生活をする」ことの発表を5年生に向けて行うということで、クラスで発表会を行うより興味・関心をもって活動に取り組めるようにした。次に、より良い生活を送れるようにしたいという思いを伝えるためには、それを裏付けるデータが必要であることに気づかせ、情報収集への意欲を高められるようにした。アンケート結果を表やグラフにまとめる際は、見やすい資料を作成したり、修正したりすることが容易にできるので、タブレット端末を使用した。そうすることで、発表内容を考えるなど、本来の目的に時間をより多く使うことができた。

そして、発表に向けては、「しまった～話す力を高める～」を視聴し、番組内で実際に発表している姿を見ることでイメージを沸かせる。本時では、以前のプレゼンテーションの際に課題だった点に注目させる。番組を視聴することで「聞き手を見て話す」「間を意識して話す」という点に気づかせる。その際、じっくり自分のペースで視聴できるよう、タブレット端末を使用し、個別視聴する。大切だと思うポイントを「しまったメモ」に書き、グループの話し合いに使用する。それを元にグループ同士で聞き合いをする際のチェックリスト（項目は3つに絞る）を各グループで作成する。各グループで作成したチェックリストを使い、自分たちのグループの発表をチェックし練習する。更に、他のグループの発表もそれぞれのチェックリストをもとに助言し改善する。視聴したことを活用して作成しているので、自分たちの発表を見直す時の意識が高まる上、聞き手を意識した話し方の観点がぶれることなく、改善点を見つけることができると考える。

### 指導の流れ(国語科10時間、総合的な学習6時間)

時	学習活動	ICT活用のポイント	指導上の留意点
1	○ 学習の見通しを立てる。 ・ 生活実態をアンケートで調べて、その結果をまとめた資料を用いながら報告し合うという学習課題をつかむ。		○ 統計資料や校内通信などを提示し、資料の有無によって内容に説得力が増すことや分かりやすさが違うことに気づけるようにする。

2 ～ 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話題を決めて、アンケートを実施する。</li> <li>・ 選んだ話題ごとにグループを作る。</li> <li>・ アンケートを作り、結果を予想する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アンケートは自分たちの生活を見つめなおすために実施するという目的を確かめる。</li> </ul>
5 ～ 12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 結果を整理して、報告する内容を決める。</li> <li>○ 発表の組み立てを考え、資料を作る。</li> <li>・ アンケートの結果から更に知りたいことや、予想と結果を比べて気づいたことなどを話し合う。</li> <li>・ 報告する内容や必要な情報を集めて、プレゼンテーション資料を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ NHK for School「しまった！～プレゼンテーションを作る～」を視聴することで集めた情報をうまく伝える方法を視覚的に確認することができる。</li> <li>○ タブレット端末で資料を作成することで、グループで見直ししながら作成することができ、修正も簡単にできる。</li> <li>○ 「コラボノート」を活用することで、複数の児童が同時に同じシートでの作業を進めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 視聴の際には、大事なことをワークシートに書き留め、プレゼンテーション作成の際に見返せる。</li> <li>○ 図表やグラフなどの資料の形式を、話す内容に合わせて選択させる。</li> <li>○ アンケート結果を集計して表などにまとめ、分かったことは箇条書きで整理させる。</li> <li>○ アンケート結果を分析した際にさらに調べたいことが出てきた場合はインタビューをしたり、インターネットを活用したりして調べるようにする。</li> </ul>
13 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ NHK for School「しまった！～話す力を高める～」を視聴して、話し方を高めるチェックリストを作る。</li> <li>・ 作ったチェックリストで自分のグループを見直す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ NHK for School「しまった！～話す力を高める～」を視聴することで聞き手に伝わりやすい話し方や、人の興味を引き付ける話し方を視覚的に確認することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 視聴の際には、大事なことを書き留め、グループで話し合い、話し方のチェック表をみんなで作ることで、発表を聞くときの観点がぶれないようにさせる。</li> </ul>

14 16	<p>○ 作成したポスターを用いながら話す練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各グループで作ったチェックリストを使用する。</li> </ul> <p>○ グループで発表を聞き合い、チェックリストをもとに助言しあう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チェックリストを見ながら聞く。</li> </ul> <p>○ もらったチェックリストをもとに発表原稿を修正し、話す練習を繰り返す。</p>	<p>○ 「コラボノート」を活用することで、複数の児童が同時に同じシートでの修正作業を進めることができる。</p>	<p>○ それぞれに作ったチェックリストを使って、発表を聞き、改善点を助言するように伝える。</p> <p>○ 改善点の助言をもとに、発表原稿の修正をしたり、話し方を改善したりして、再度練習するようにする。</p>
17	<p>○ 5年生への発表会を開き、単元の学習を振り返る。</p>	<p>○ コラボノートを使用することで、タブレット端末に発表の担当箇所を拡大して映すことができる。</p>	<p>○ 話し手にとっての留意点を再度確認するようにする。</p>

## 本時の学習

### (1) 本時の ICT 活用について

授 業 形 態	■一斉学習    ■ペア学習    ■個別学習
ICT 活用の場面	□導 入    ■展 開    ■ まとめ
I C T 活 用 者□	■指導者    ■児 童    □その他 (                      )
ICT 活用の目的	<p>■資料の提示(指導者)    ■資料の提示(学習者)    ■自分の考えをまとめる</p> <p>□ペアの考えをまとめる    ■他者との考えの比較・交流</p> <p>□学習内容を調べる    ■自分の考えを表現する    □学習の振り返り</p> <p>■記録(写真・動画等)    ■プレゼンテーション等の作成</p>
活 用 機 器	<p>□電子黒板    ■大型モニタ    ■指導者用タブレット端末</p> <p>■児童用タブレット端末    □その他 (                      )</p>
活用コンテンツ等	○ 発表ノート
ICT 活用のポイント	<p>○ NHK for School「しまった！～話す力を高める～」を視聴することで、指導者が捉えさせたいことを短時間で伝えることができる。</p> <p>○ 個人で視聴することにより、自分のペースで番組の内容の理解を深めることができる。</p> <p>○ コラボノートを使用することで、タブレット端末に発表の担当箇所を拡大して映すことができる。</p>

### (2) 目 標

- 聞き手を意識した話し方とはどんな話し方かを視聴したことから学び、チェック表を作ることができる。
- 作成したチェックリストをもとに、自分たちの発表の課題を見つける。

(3) 展 開

学習活動	☆ICT 活用のポイント ◇指導上の留意点	使用機器 コンテンツ	評価
○ 本時の学習課題を確認する。	◇ 本時の学習課題を確認し、振り返りができるようにする。		【学びに向かう力】 ・ 本時の学習課題に意欲的に取り組もうとしている。 (行動・発言)
発表名人になろう。			
○ 「しまった～話す力を高める～」を個別視聴し、聞き手を意識した話し方のチェックリストを作り、自分のグループの発表の課題点を見つけるという学習の見通しをもつ。	☆ NHK for School「しまった！～話す力を高める～」を視聴することで、指導者が捉えさせたいことを短時間で伝えることができる。  ☆ 個別視聴することにより、自分のペースで番組の内容の理解を深めることができる。	タブレット端末 イヤホン NHK for School 「しまった！～話す力を高める～」	
○ 「しまったメモ」に記入したことと、今まで視聴した番組の「しまったメモ」から、話し方について大切だと思うことをグループ毎に確認しながらチェックリストを作る。  (ワークシート)	◇大切だと思ったことを「しまったメモ」にメモする。メモを使用してグループで話し合い、ワークシートに記入する。(チェック項目を3つに絞る)		【思考・判断・表現】 ・ 視聴して気がついたことをしまったシートに書くことができている。 (発言・ワークシート)
＜予想される答え＞ ・ 聞き手を見て話す。 ・ 間を意識して話す。 ・ 結論から話す。 ・ ポスターを指しながら身振り手振りを入れて話す。	◇ 話し合いの際は、なぜこれが大切だと思ったか、理由も話そうことができるようにする。		【学びに向かう力】 ・ 聞き手に自分たちの思いが伝わるようにするには、どんなチェック項目が必要かを考えて話し合うことができている。 (行動観察・ワークシート)
○ グループでまとめたチェック項目で、自分たちの発表を確認する。	☆コラボノートを使用することで、タブレット端末に発表の担当箇所を拡大して映すことができる。	タブレット端末 (児) コラボノート	

○ どんな課題があったか 発表し、本時の振り返り をする。	◇ 次時では、本時で作成 したチェックリストを使 って、他のグループの発 表を聞き、改善点を見つ けることを伝える。		
-------------------------------------	--	--	--

板書計画

発表名人になろう。

○学習の流れ

- ・「しまった！～話す力を高める～」を見る。
- ・大切なポイントをしまったメモに書く。
- ・しまったメモを見ながら、グループでチェックリストを作る。  
(こうもくは3つ)
- ・自分のグループの発表をチェックする。

発表名人になるための  
チェックリスト    ○はん

ふ  
じ  
い

例：聞き手を見て話している。			
例：間を意識している。			
例：身振り、手振りを入れている。			

感想

ワークシートを拡大したもの

成果

- ・ ヘッドフォンを使用して個人視聴を行ったことにより、集中して視聴することができた。
- ・ 年間を通して、NHK for school「しまった」を継続視聴したことによって、番組のパターンをつかみ視聴することができた。更に、番組が抑えている3つのポイントに付け加える大切なことを自分なりに見つけ、細かくメモをする力を付けることができた。
- ・ 全児童の個人視聴の様子を大型モニタに映すことで、視聴の様子を一目で把握することができた。
- ・ NHK for school「しまった～話す力を高める～」を活用した結果、捉えさせたいことを短い時間で伝えることができた。
- ・ 自分でチェックリストを作ることで、聞き手を意識した話し方ができた。発表の練習の際には、そのポイントにいつも以上に気をつけて練習する様子が見られた。

課題

- ・ 個人視聴にしたことにより、視聴のスピードに差ができてしまい、最後まで視聴することができない児童がいた。また、10分の番組を自分のペースで見るため、45分の授業時間の中での配分が難しい。
- ・ 個人でポイントを見つけ、グループのチェックリストを作成の際、まとめる作業に時間がかかってしまった。スムーズにまとめる方法を考える必要があった。
- ・ グループでの発表練習の際には、自分のチェックシートを友だちに渡してチェックしてもらう方法を取り、自分のことについて振り返られるようにするべきだった。

- ・ 発表している姿をタブレット端末のカメラ機能を使用して撮影して、自分の姿を見返すようにするとより効果が上がった。